

U2 メイプルキャニオン (ユタ)

メイプルキャニオンはアメリカでは珍しいレキ岩である。開拓は1990年半ばになってから行われ、現在ではかなり多くのルートが開拓されている。メイプルキャニオンは一応州立公園に指定されているが、公園まではほとんど看板もなにもない。しかし公園内にはキャンプ場やベンチなどはきちんと整備されている。公園内に入ると幾つものレキ岩の岩峰が現れる。ルートはそこら中に築かれているが、メインとなるのはボックスキャニオンとよばれている。少し溪谷の奥に入った所にある。ここには多くのハングした高難度ルートから中級者レベルのルートまで50本程が溪谷内の両岸に所狭しと築かれている。レキ岩を登ったことのない人にとっては慣れるまでにすこし時間がかかるかもしれない。ボックスキャニオン内は川原石がゴロゴロと転がっていて、両岸も狭く迷路の用になっていて、昼でも日が当たらない所はかなり暗い。溪谷内は声がかたまって、なかなか日本では味わえない雰囲気のエリアである。尚、ここはハイキングトレールにもなっている為、多くのハイカーなどもやってくるので、落石にはくれぐれも注意したい。ピレイヤーや下にいるクライマーにおいても同様である。また、アメリカンフォークが雨でも雨が降ってしなかったりするので、どちらかだけでも移動が可能である。アメリカンフォークからは1時間半ほどで移動できる。

岩質

レキ岩

ルート

ルートの多くはつるつるの河原石をパーミングで登っていく。そのため各所のムーブは簡単でも、つなげるとパーミングで力が吸われてしまうようなルートが多い。また、当然フットスタンスもスリッピーな部分が多いので、的確なフットワークが要求される。レキ岩だけあってホールが欠ける事もあるので、できるだけチョークの付いているホールを使った方が安全である。特にスタンスは変な所に置くとぼろぼろ欠けてしまう。プロテクションもそれ程多めには打っている感じも受けないのでクリップの間引きなどはしないほうがよい。

宿泊

公園内のキャンプ場はセルフキャンピングで1日3ドル。水とトイレのみ。

シーズン

少し標高が高いため基本的には夏のエリア。私は6月初めに訪れたが、ボックスキャニオン内はとても寒く日向を求めている。またキャニオン内はあまり日が当たらない。被っているルートも多いので雨の降り始めならば問題無い。雨の後若干しみ出しのするルートもある。

ショッピング

トボは1996年にメイプルキャニオンと題して発行されている。クライミングの紹介記事のルート図はセレクトされているものしか出ていないのでトボは必需。

アプローチ

ここではSALT LAKE CITYから紹介する。I-15号を南に走りHEPHIといふ街Exit 222で降りる。そこから89/132号をFOUNTAIN GREENの町に向う。町から132号と平行して走る山沿いの道(2478号に合流する道路)を、WALES方向に向う。途中FREEDAM rdに入る。ここはかなり小さいがメイプルキャニオンの看板がある。後は看板にしたがい進み、辺りは七面鳥の養鶏場になる。さらに進むとダートになり公園内に入ることができる。